

平成30年度 災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会 開 催 要 綱

1 目 的

平成28年の台風10号災害等による大雨等災害では、災害ボランティアセンターが道内4町に設置され、主に道内市町村社会福祉協議会職員がその運営に関する支援を展開しました。北海道社会福祉協議会では、平成29年4月から常設型の災害ボランティアセンターである「北海道災害ボランティアセンター」を開設し、円滑な被災者支援活動の展開に向けたネットワーク構築や人材育成事業等を企画展開しています。我が国では東日本大震災を契機に災害対策基本法が改正され、災害ボランティアとの連携（法第5条の3）や避難行動要支援者名簿の作成（法第49条の10）が明文化されたほか「地方公共団体のための災害時受援体制に関するガイドライン」と「広く防災に資するボランティア活動の促進に関する検討会提言」が内閣府においてまとめられるなど、災害に備えた支援体制の構築や災害時における円滑な支援活動の展開が求められています。また、災害時の各種ニーズに的確に対応するには、市町村行政と災害ボランティアセンターの連携が欠かせません。

本研修は、災害ボランティアセンター構築およびボランティアコーディネーションを担う人材の育成・資質向上、また、災害ボランティアセンターの役割理解を促進することを目的として開催します。

2 主 催 北海道災害ボランティアセンター（北海道社会福祉協議会）

3 と き／と ころ ※今年度は、道内3会場で開催します。

① 苫小牧／平成30年7月19日（木）～20日（金）（2日間）

場所：苫小牧市文化会館 2・3会議室（苫小牧市旭町2丁目8番19号 ☎0144-36-7823）

② 北 見／平成30年9月11日（火）～12日（水）（2日間）

場所：道立北見体育センター 講堂（北見市東陵町27番地 ☎0157-23-3131）

③ 札 幌／平成30年10月15日（月）～16日（火）（2日間）

場所：北農健保会館 大会議室（札幌市中央区北4条西7丁目 ☎011-261-3270）

4 参加対象 ・社会福祉協議会職員

- ・行政職員（危機管理及び災害時ボランティア受け入れ計画担当、要配慮者支援担当者など）
- ・災害ボランティアネットワーク会議加盟団体の構成員
- ・災害時に支援活動を行うNPO法人等のメンバー
- ・その他災害ボランティアセンター運営に関するもの

5 参加経費 無料

6 定 員 各会場100名

※会場の状況などから参加をお断りする場合がございます。

7 日 程

【1日目】

12:00	13:00	13:30	14:30	14:45	17:30	18:00
(1) 受付	(2) 開会・基調説明	(3) 講義	休憩	(4) 演習	(5) 質問票記入	

【2日目】

9:00	9:30	11:30	12:00
開場	(6) 演習	(7) 振り返り	

8 内 容

【1日目】

(1) 受付 (12:00～13:00)

(2) 開会・基調説明 (13:00～13:30)

「本研修の意図とねらい」

北海道社会福祉協議会に設置した常設型の災害ボランティアセンター設置の意図と事業内容を伝えるとともに、本研修の開催の趣旨を説明します。

(3) 講義 (13:30～14:30)

「災害ボランティア入門」「災害ボランティアセンターの概要とその設置意義」

災害ボランティアセンター運営（運営の支援を含む）にあたり、まずは災害ボランティアについて必要な知識を学びます。そのうえで、災害ボランティアセンターの業務内容や社会福祉協議会が設置をする意義について学び、災害ボランティアセンター運営について俯瞰的に捉えます。

(4) 演習 (14:45～17:30)

「災害ボランティアセンターの運営を体感しよう ～災害ボランティアセンターマッチング体験カードゲームを通して～」

災害ボランティアセンターの業務はいくつかの分野に分けることができますが、ここではその重要な機能であるマッチングを体験し、センターの運営を体感します。センター立ち上げ期、立ち上げ2週間後の3連休初日、災害ボランティアセンター閉鎖期と、時期によって変化する課題に、あなたはどうか対応しますか？

(5) 質問票記入タイム (17:30～18:00)

本研修の演習では主にマッチングを通して災害ボランティアセンターの理解を深めていきますが、実際に被災地に赴いた経験のある方の中には、他分野において課題意識を持つ方がいることでしょう。それらの質問に対しては、2日目に被災地支援経験豊富な講師がお答えいたします。

【2日目】

(6) 演習 (9:30～11:30)

「災害ボランティアセンターの運営を体感しよう ～マッチングゲームを通して～」

前日の演習の続きを行います。

(7) 振り返り (11:30～12:00)

本研修を振り返り、各々の地域に戻った後に「何ができるか」を考えます。

また、前日の質問票に対して講師が回答をいたします。

一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター (PBV)

東日本大震災を受けて「人こそが人を支援できる」を理念に2011年4月に設立。以降「国内外の災害救援」「防災・減災への取り組み」を中心に活動を行っている。これまでに海外10ヶ国、国内34地域での被災地支援を実施、延べ9万人以上のボランティアをコーディネート。その経験を基に平時には様々な形で防災減災の取り組みを行っており、中でも防災・減災教育プログラムは「災害ボランティア」「自治会や地域住民」「災害ボランティアセンター運営者」「行政」等、対象や目的に合わせた研修や訓練はこれまで500回以上、延べ受講人数は14,000人以上にのぼる。

主な支援先…東日本大震災：宮城県石巻市等（継続中）、伊豆大島土砂災害：大島町
関東・東北豪雨：茨城県常総市等、熊本地震：益城町・西原村等、
九州北部豪雨：東峰村、朝倉市 等

主な研修実績…災害ボランティアセンター運営者研修

主催：全国社会福祉協議会

各開催地（茨城、福井、岡山、福岡等）県社会福祉協議会

民間事業者による災害時の社会貢献活動 ～企業に求められる災害支援～

主催：栃木県危機管理課

わが家の災害対応ワークショップ

主催：株式会社カインズ 等

10 参加申し込み

別紙参加申込書により、会場ごとの申込締切までに本会あてFAXにてお申し込みください。なお、参加申込書に記載された個人情報は、本研修会の運営管理のみに利用させていただきます。（配布資料に氏名、所属・役職を記載した名簿を掲載いたします。）

※各会場申込締切期日

- ①苫小牧 平成30年7月6日（金）
- ②北見 平成30年8月29日（水）
- ③札幌 平成30年10月2日（火）

11 その他

本研修を受講することにより、同封している12月3日（月）に札幌で開催予定の「初期支援チーム研修会」に参加できます。初期支援チーム研修会は、災害ボランティアセンター立ち上げ初期の支援を行うにおいて必要な知識を習得する研修会です。道内の支援体制構築に向け、こちらの研修受講も併せてご検討ください。

12 申し込み、問い合わせ先

北海道災害ボランティアセンター（担当：宮川・三上）

（北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課内）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる2.7 2階

☎ 011-271-0683 / FAX 011-271-3956

※FAX送信票等鏡文書は不要です。

【送信先】FAX：011-271-3956

北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課 宮川・三上 行

平成30年度
災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会
参加申込書

申込会場（いずれかに○）		
1 苫小牧 (7/19~20) ・ 2 北見 (9/11~12) ・ 3 札幌 (10/15~16)		
所属（〇〇市〇〇社協〇〇課 など）	参加者職名・氏名	性別
市町村名)	職名)	男 ・ 女
社名)	お名前)	
部署名)		
災害ボランティアに関する経験について（各問いずれかに○）		
問1	①災害VCの運営（応援含む）経験がある	②災害VCの運営（応援含む）経験はない
問2	①災害VCの担当者である	②災害VCの担当者ではない
問3	①災害ボランティアの経験がある	②災害ボランティアの経験はない

申込担当者氏名： _____

電話番号：

FAX番号：

※1 「参加申込書」に記載された個人情報は、本研修の運営にのみ利用いたします。記載内容につきまして、参加者名簿を参加者に配布する予定ですので、あらかじめご了承ください。

※2 複数名のお申込みの場合は、本用紙をコピーしてご使用ください。

※3 各会場 申込み締め切り日

①苫小牧	7月 6日 (金)
②北見	8月29日 (水)
③札幌	10月 2日 (火)